



オオウバユリ
アイヌ語名：トウレフ。
根からでん粉を採取して食用
(アイヌ語アーカイブから)

発行：てしかが郷土研究会 (Teshikaga Regional Studies Association)

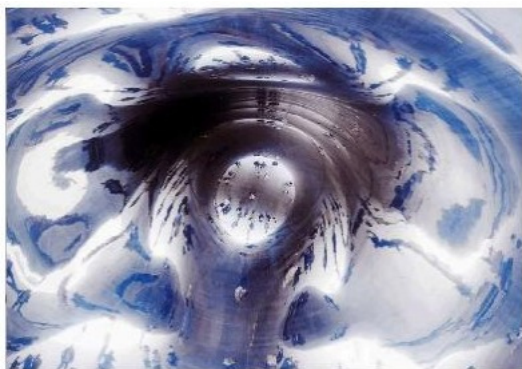
北海道川上郡弟子屈町中央3丁目2-10 (松橋方)

文章責任：松橋 秀和

近況報告

山本正裕さん快挙

北海道写真協会釧路支部の七月例会で、山本さんの作品、題名「ふしぎな世界」が一位に選ばれました。昨年の同例会で一位、今年の第七二回写真道展・第一部自由部門では題名「叱られて」が入選されています。いつか当会で個展を計画したいですね。



25
07
19 北海道新聞から

写真展の結果

五月八日から六月二九日まで二回にわたり二二日間開催しました。延べ約五〇

前田会員は鉄道が趣味で且つ職業柄もあって、七円切手に当日の日付印で消印して「記念シート」を作られました。楽しい遊び心です。

令和の7並び記念日

令和七年七月七日。「77」の何てことない数字の並びですが、どこかに何かがある感じがする数字の並びです(ギャンブルをされる方には)。



○名の来場者がありました。来場者の約六〇%が弟子屈町内からでした。

水越氏の作品を広く町民に鑑賞して頂く事、当会の存在を知っていただく、という当初の目的は達成できたと自賛しています。

なお、詳しい写真展単体の決算は監査中ですので、次回の例会で報告します。因みに、総額で四十五万円ほどの費用を要しました。

数字のマジック

弟子屈町 6,400人
弟子屈町 300人 ÷ 6,400人 ≈ 5%
札幌市の人口1,970万人で換算
1,970,000 × 5% ≈ 98,500人
もし500円の入場料だとすると
98,500人 × 500円 =
48,250,000円

次回の例会

令和七年八月二〇日(水)

一九・〇〇

ふるさと歴史館

勉強会

「更科源藏

ジンギスカン事件」

講師 松橋秀和

アジア太平洋戦争の敗戦から二三年、やんごとなきお方との一コマを紹介



写真展の様子

勉強会

七月二三日の例会は、道東地方が歴史的な気温の上昇による熱中症等の危険があるため、急遽中止としました。

勉強会の演題は八月の例会へ持ち越しました。

むかしむかし写真館

No. 356

我が家のアルバムから No. 2
「更科源藏」氏の写真 小林 俊夫

この写真は、昨年の暮れ東京都内にある古書店から「更科源藏詩集」を取り寄せたところ、氏のサインが書かれ、その中に写真が挟んでありました。きつとこの詩集の出版記念会の写真とと思われます。

●更科源藏・隣に千恵婦人が写っています。

1961(昭和三十六年)一月二十日撮影。



この写真は、1936（昭和十一）年一月三日「川湯 御園」で撮影されています。写真には万年筆で名前が英字で上書されています。

上段右側から合田(登)・不明・阿部・大塚・本山・本山・高田(辰蔵)・前列右側から安倍(實)・小林(父)・更科源藏。立っている方は不明。

どのような集まりで川湯に宿泊したのかは不明ですが、親しい仲間たちの集まりではないかと思えます。



この写真は、1938（昭和十三）年「昭栄尋常小学校創立二十周年」の記念写真です。

右側から佐藤勇校長・城尾義三弟小校長・更科源藏と道子(長女)・青木貞行村長・小林(父)等多くの関係者が写っています。



※「本町に関する古写真」の無償提供をお願いしております。
(コピーしてお返し致します)

てしかが郷土研究会